

2005年度日本広報学会研究会報告書

# 日本におけるM&A広報のあり方

Public Relations for M&A in Japan

『日本におけるM&A広報のあり方』研究会

2006年5月

日本広報学会

Japan Society for Corporate Communication Studies

## はじめに

本冊子は、2005年度の日本広報学会研究会「日本におけるM&A広報のあり方」の成果報告書です。学会からの助成費を得て活動した研究会の成果を、研究会各参加者の責任において論文として無償でまとめました。日本のM&A広報に関する最新の情報、理論、展望が記載されている唯一の冊子であると自負しております。なお、この研究会のテーマは「研究会企画選定規程」に基づいて学会が募集し、研究会運営委員会での審査の結果、採択されたものです。

本冊子が学会をはじめ広報分野に関与する方々のご参考となり、ご研究の一助となることを願っております。また、各論文に関する忌憚の無いご意見を賜れば幸甚です。

### 研究会の概要

- テーマ 日本におけるM&A広報のあり方
- 研究目的 M&Aが経営戦略の一環として普及しつつある現在、企業における広報のあり方を問う。
- 主査 上田 武（株式会社 日本エンジェルキャピタル）
- 参加者 14名（巻末資料参照）
- 期間 2005年4月から2006年3月
- 概要

M&Aの際、株主、アナリスト、官庁、有識者、従業員、マスコミなど幅広いステークホルダーの支持を得ることが企業にとって不可欠です。M&Aに際して関係者からの支持を得るためのコミュニケーションについて研究しました。本冊子では参加者12名の論文を便宜的に以下の4分野に分けて編成しております。

- ① M&Aとコーポレートガバナンス
- ② M&A広報の現状
- ③ 日本におけるM&A広報のあり方に関する分析
- ④ 日本におけるM&A広報のあり方に関する提言

(主査 上田 武)

## 目次

はじめに	1
第1章 M&A とコーポレートガバナンス	3
■M&A とコーポレートガバナンス	
上田 武 (株式会社 日本エンジェルキャピタル)	4
第2章 M&A とその広報の現状	7
■M&A 時の企業情報ディスクロージャーと広報についての考察	
北見 幸一 (株式会社 電通パブリックリレーションズ)	8
■M&A:インベストメントバンカーの事情と広報活動	
鈴木 奈緒美 (株式会社 エフビーアイコミュニケーション)	17
■未上場企業における M&A 広報の取り組み	
東村 篤 (岡三ベンチャーキャピタル株式会社)	20
第3章 「日本における M&A 広報のあり方」分析	27
■敵対的買収時の危機管理コミュニケーション	
井上 邦夫 (東洋大学)	28
■M&A と株主コミュニケーション	
河東 康一	35
■TOB 価格の決定要因である非財務的企業価値と広報の役割	
村田 友司 (共同 PR 株式会社)	41
■敵対的買収で世論を味方につけるには	
石川 慶子 (有限会社 シン)	45
■敵対的買収防衛と企業価値を高めるコミュニケーション戦略について	
越智慎二郎 (株式会社 電通)	51
■事業継続管理(BCM)の一環としての M&A 広報	
関野 雅史 (株式会社 日本エンジェルキャピタル)	55
第4章 「日本における M&A 広報のあり方」提言	59
■合併・買収時における戦略的 M&A コミュニケーションズ	
八木 誠 (広報コンサルタント)	60
■CSR の視点からみた敵対的買収の問題点と提言	
佐久間 健 (株式会社 コミュニケーション戦略研究所)	68
第5章 付属資料	77
■研究会実施内容	78
■研究会メンバー	80